

八重山高校は、盛岡第四高校と姉妹校交流を 26 年間続けている！

令和 3 (2021) 年 10 月

八重山高校は、岩手県立盛岡第四高校と姉妹校を締結し、毎年交流事業を行っている。同校は岩手県盛岡市南部に位置しており、近くを北上川が流れ、遠く岩手山を一望できる環境で八重山高校から 2, 700 K 離れている。昭和 29 (1964) 年に創立され、普通科 21 学級で編成されている。郷土の先人、新渡戸稲造と宮澤賢治を建学の精神的支柱にし、「誠実・敬愛・大志・真理」を謳い、一人一人が国際社会に対応できるような学力と教養の育成をめざしている。平成 8 年に沖縄県立八重山高校と岩手県立盛岡第四高校は姉妹校を結んで以来、毎年相互に生徒を派遣し合い交流を続けている。盛岡第四高校は例年 10 月頃八重山高校を訪問し、八重山高校生は 1 月下旬に盛岡第四高校を訪問し白銀の岩手を体験している。今年も、1 月 17 日から盛岡第四高校への交流事業に八重山高校生 8 名が参加した。以下姉妹校交流の歩みを紹介する。

(1) 平成 5 年：石垣島と岩手県の交流のきっかけ

岩手県は大冷害の打撃で、翌年の種籾不足が懸念された。そこで、翌年の種籾の育苗を石垣島の農家に依頼した。

(2) 平成 6 年：盛岡第四高校と八重山高校との出会い

全国高等学校総合文化祭で、八重山高校郷土芸能部が最優秀賞の文部大臣賞を受賞する。

(盛岡第四高校は、全国高校文化連盟の会長校)

(3) 平成 7 年：八重山高校と盛岡第四高校の交流のきっかけ

岩手県高校文化連盟は、岩手県の高校文化祭開会式で他県交流事業の一環として、前年度全国高等学校総合文化祭最優秀校の八重山高校郷土芸能部を招待し、引率の高嶺方祐先生と生徒 40 名が盛岡第四高校生宅にホームステイした。

(4) 平成 8 年 1 月：交流 0 回生の誕生

盛岡第四高校生 7 名が石垣島を訪問した (交流 0 回生)。その当時の盛岡第四高校の太田原弘校長と八重山高校の仲本正宏校長の間で姉妹校締結の話が出る。

(5) 平成 8 年 8 月 26 日：姉妹校締結

両校校長及び盛岡第四高校の吉田弘躬 P T A 会長、八重山高校の東洋一 P T A 会長同席の元で「姉妹校締結式」を盛岡第四高校で行った。

(6) 平成 8 年 9 月 27 日：交流 1 回生

盛岡第四高校生 7 名、引率の煤孫達男教頭が石垣島に来校し、交流 1 回生となる。

(7) 平成 17 年：10 周年記念事業

姉妹校締結 10 周年記念事業として、盛岡第四高校男子ハンドボール部が来校し、八重山高校男子ハンドボール部と交流試合を行う (P T A 役員 12 名同行)。

(8) 平成 22 年：15 周年記念事業

姉妹校締結 15 周年記念式典に、八重山高校の新垣治男校長、P T A 会長、尚志会会長他 16 名が盛岡第四高校を訪問する。

(9) 平成 24 年：八重山高校創立 70 周年

八重山高校創立70周年記念として、盛岡第四高校から南部鉄器「石割桜（いしわりざくら）」（巨大な花崗岩の割れ目から育った盛岡市にある樹齢360年の桜で、1923（大正12）年には国の天然記念物に指定されている。このオブジェはその石割桜をモチーフとして作られている）のオブジェが寄贈される。

(10)平成26年5月：盛岡第四高校創立50周年

盛岡第四高校創立50周年記念事業として、八重山高校野球部が招待される。

(11)平成26年10月18日

盛岡第四高校創立50周年記念式典に、八重山高校の前三盛英明教頭、PTA会長、尚志会から会長他6名、八重盛48の会12名の合計37名が出席する。盛岡第四高校の校章をモチーフした旗頭の頭に（制作：新城弘志氏）、旗には盛岡第四高校50周年のシンボルである天馬のマークと「知命」の文字、その横に「新たなる伝統への飛躍」をいれた旗頭を、八重山高校から盛岡第四高校へ寄贈する。

(12)平成27年10月：20周年記念事業

姉妹校交流20周年記念式典を挙げる。

